



# 元 気の架け橋

— ずっとここで —

特集

「最近どんな？今日はサロン来る？」志津川に住む渡部春子さんの元を訪れたのは同じ地区に住む大谷早美さん。昔、志津川のふれあい・いきサロンで仲を深めた大谷さんと渡部さん。「春子さんはサロンの世話をしていたときからよくしてくれています。春子さんがサロンのメンバーになった後も積極的に手伝いをしてくれて感謝しています」と大谷さんは話します。「サロンではお世話になりました。最近サロンに足を運ぶことができない日もあるけれど、いつも声を掛けてく

れることがとてもありがたいです」と渡部さん。

「住んでいる家が近く、毎朝庭先にいる渡部さんに声を掛けています。込み入った話はありません。庭をいつも手入れしているので『綺麗ね』と褒めたりするくらい。それでも、毎日顔を見ると今日も元気だと安心します」と話します。

誰もが元気に過ごせるまちに大切なことは何だろう。民生委員として長年務めた大谷早美さんの今とこれからから姿から紐解いていく。



大谷さんは11月30日、民生委員を5期務めて退任しました。民生委員の1期は3年。通算15年務めた。

「1期だけしようかなと始めた民生委員は気付けば5期。2期目から役員も経験し、会長なども経験しました。民生委員になる前は地域と繋がりが希薄でしたが志津川区を長年担当し、活動を通じて繋がりができました」

社会福祉協議会（以下社協）で独居の高齢者に月2回、手作りの弁当を無料で配達する「ふれあい給食サービス」。管理栄養士が考えたバランスの良い食事を提供できるとともに、戸別訪問で安否確認ができる。利用者の中には配達日はデイサービスの時間を変える人もいるほど好評で、毎月楽しみにしている人も少なくない。ふれあい給食を配達するのは重信地区の民生委員の活動のひとつ。

「ふれあい給食サービスは年に2回、民生委員が作る日があります。最近、独居の

高齢者が多くなり、1回に作る量が多くなってきたので、退任のタイミングでボランティアをしてほしいと声を掛けられ、せっかくだからやってみようと思いましたが、けれどやっぱり慣れないと難しい」と笑う。

とうおんマジックボランティア「スマイル」は数年前マジックの講習で出会った民生委員に大谷さんが声を掛けられたことから始まった。「高齢者の人が健康であるために何かできないかとサロンなどでマジックを披露しています。マジックのタネを考えてもらい、頭で考えることは脳トレにも効果的です。民生委員は退任しましたが、続けられる限り続けていきたいと思っています」と話す。

民生委員時代は高齢者との関わりが多かった大谷さん。「ここ10年でも高齢者が増えてきています。今こそ若い人たちの力が必要ですが、若い世代の皆さんは子育てや仕事で忙しいことも理解でき

ます」

現在は民生委員の任期を終えたが、1月から志津川区と社協と協力して、ラジオ体操を始める。

「ラジオ体操は続けていると体にもいいし、誰もが気軽にできます。近くに住む高齢者の人はもちろん、子どもたちにも参加してもらいたいと思って小学校にも声を掛けています。毎朝、交通の見守りをしているので顔見知りの方がやっていると来てもらいやすいかなと。子どもたちを通して保護者の皆さんにも地域の人たちを知ってもらえると嬉しいですね。とりあえず参加してもらおうこと、これが大切だと思っています」

「活動を続けるには、まず私が元気であることが大事。住んでいる皆さんにもいつまでも健康で元気でいてほしいと願っています」と話す大谷さんはこれからも元気の架け橋になり日々奔走する。



# 私たちが民生児童委員です

令和4年12月1日の新任・再任民生児童委員への委嘱状伝達交付式と退任委員への感謝状伝達贈呈式で32人が退任、67人が任命されました。各地区の委員の連絡先は、社会福祉課（☎964-4406）へお問い合わせください。



◇重信地区民生児童委員（担当地区）…鈴木ヤエ子、山内憲子（山之内）▶和田久幸、和田明子（樋口）▶岡本千矢子、山田真記子、渡部美智子（横河原）▶田頭裕之、渡部美代子、中村美幸、越智賢治（志津川）▶阿部かなえ（志津川南）▶花山良博、岡本かず子（西岡）▶佐伯和子、高原幸（見奈良）▶仙波月恵（田窪団地）▶遠藤勇、今井秀子、稲垣史雄（田窪）▶高田信子、前島利美、片上久美子（牛淵）▶坂本由紀、田中美鈴（牛淵団地）▶柴田陽子（播磨台団地）▶星川恭子（上樋）▶三多京子（南野田）▶高市さつき、森妙美（北野田）▶八塚清子（新村）▶森数正、渡部勝正（上林）▶森正経、河野陽子（下林）▶高市郁子（上村）▶和田和江、潮祥子（主任児童委員）



委員代表にインタビュー

MASATSUNE MORI

森正経

重信地区民生児童委員代表

民生委員は苦勞して大変というイメージがありますが、よく地域が見れるようになると思います。見回りやサロンの活動、朝の登校の見守りで地域の人と関わっていくと少しずつ地域が見れるようになり、いろいろな課題の解決策が見えてきます。

将来に地域のよさを残していけるように、高齢者と若い人が共に地域をつくれる関係性を民生委員が築いていけるようになればと思っています。

## 地域の相談役 民生児童委員に新たな顔ぶれ



◇川内地区民生児童委員（担当地区）…近藤ヒサミ、中野敬子（河之内）▶小倉眞一郎、片山昇一（則之内東）▶山本正仁、和田伸久（則之内西）▶山本哲（井内）▶井上和弘（滑川）▶藤川美代子（土谷）▶森通香（奥松瀬川）▶仙波頼男（前松瀬川）▶若松信孝、渡邊知津（横瀬団地）▶佐伯和伸、玉井俊三（北方東）▶渡部清美（北方西）▶渡部元衛、近藤一郎、近藤芳夫（町東）▶水口肇、村尾さおり（町西）▶高須賀ひづる、村上光信、萩原寛、宇和川望（南方東）▶渡部利彦、古田克徳（南方西）▶桑原恵子、高須賀久美枝（主任児童委員）※敬称略

委員代表にインタビュー

MOTOE WATANABE

渡部元衛

川内地区民生児童委員代表

4期目になりました。私は民生委員になって1期目につまづいた経験がありました。迷った時に相談できなかったことを今でも後悔しています。相談者にできる手段を考えるには仲間や適切な機関との相談が大切だと感じました。新任の民生委員が気軽に相談できるように仲間に入りやすい工夫をしていきたいです。福祉の現状は常に変っていくので、日々勉強することが大切だと思っています。

